

住宅耐震化

耐震改修という選択

9月1日は防災の日です。地震が起きた時、自分の住まいは安全でしょうか。離れて住む家族の住まいはどうでしょうか。この機会に耐震化について話し合ってみましょう。

木造住宅耐震改修費補助金を使い、耐震改修を行った岩井さん夫婦にお話を伺いました。



◆耐震改修を決断したきっかけは？

祖母が住んでいた築125年の住宅を相続したのですが、そのまま空き家におきたくないと思い、取り壊して新築するか、耐震改修をして残すかを検討しました。いろいろと業者へ相談するうちに、今ある立派な柱や梁を活かしたいと思い、耐震改修という形を選択しました。

昭和20年に起こった三河地震を経験した住宅なので、次に起こる地震にも耐えながら、この先100年住むことができるようにと計画してもらいました。

◆工事中に気になったことはありますか？

瓦屋根が劣化していたため、葺き替える計画でした。実際に古い瓦屋根を撤去しているところを見て、たくさんの土が使用されていたことが分かりました。

能登半島地震では、屋根が重たく壁が少ない住宅が、つぶれたように倒壊していたので、屋根を軽くしたり、壁を増やしたりすることは大切だと思いました。



筋交いを入れて壁を補強

◆耐震改修を終えた感想を教えてください

市の補助金を活用することで、施工業者だけでなく、市のチェックや検査を受けることができたのがよかったです。

古い家を壊したり建て替えたりするだけではなく、耐震改修やリノベーションをして古材を活かすということも、選択肢のひとつになればいいと思います。



屋根の土を撤去している様子

ブロック塀等撤去費補助金

も活用しました



おおやし
大谷石やレンガ等の塀も対象です

こんな補助金があります

詳細は市HP参照

- 木造住宅の無料耐震診断
- 木造住宅耐震改修費補助金(一般型、段階型、簡易型)
- 木造住宅耐震シェルター等整備費補助金
- 非木造住宅の耐震診断費・耐震改修費補助金
- 瓦屋根改修費等補助金(瓦屋根診断・瓦屋根改修)
- ブロック塀等撤去費補助金



あいち耐震改修ポータルサイト

設計者や施工業者を探せます

